

## 2017年度 ESDプロジェクト

- 中1 「Live Together ～仲間と共に生きよう～」 中2 「Japan アピール ～日本のことをもっと知り、伝えよう～」  
中3 「NZ vs 日本～比べてみよう NZ と日本～」  
高1 「Think Globally, Act Locally ～世界の問題を自分の事として考え、行動しよう～」  
高2 「To be a global leader ～持続可能な社会を創るために個人の課題を自主的に発見し、解決策を思案する～」

2015年度に文部科学省よりスーパーグローバルSGH・アソシエイト校の指定を受けた。2016年度からESDプログラムを実施して、今年度で2年目となった。今年度も各学年は年間テーマにもとづいて持続可能な社会への関心・問題への気づきが深まるプログラムを実施している。



中1

中学1年生では「Live Together ～仲間と共に生きよう～」をテーマにESD活動に取り組んでいる。世界中の人々を「仲間」ととらえ、各国の子もたちの生活、食文化、健康などについて班ごとに調査を行った。調べた内容を模造紙にまとめて、なでしこ祭で展示をした。

模造紙でまとめた内容について、疑問や質問を作り、各自で自分の論題を決定した。論題の内容を中心に置いて描いたマインドマップをもとに発表の原稿を作り、発表会を実施した。



中2

中学2年生では「Japan アピール ～日本のことをもっと知り、伝えよう～」をテーマに活動に取り組んでいる。前期ではリーダーシップについて学ぶため、歴史上のリーダーについて映像を見てリーダー像に迫った。サーバントリーダー協会の方を講師として招き、ワークショップ形式のレクチャーを受けた。またポジティブな言葉を使い相手に自分の気持ちを伝える「ペップトーク」を学んだ。

後期は来年度の海外セミナーで行われるニュージーランドの姉妹校・提携校の生徒との交流を考え、自らが日本国内のさまざまな問題に目を向け、知識と理解を深めることを目指した。図書室で世界の絶滅危惧種について学び、日本の固有生物についての学びを深めた。また、来日している留学生と交流を持ち、日本文化について英語でプレゼンテーションし、留学生から各国の文化について話を聴く機会を設けた。



中3

中学3年生では「NZ vs 日本～比べてみよう NZ と日本～」というテーマで探究学習を行っている。

今年度の特色は、海外セミナーで訪れる姉妹校・提携校での協働学習がより一層充実になったことだ。昨年度はエイボンサイド・ガールズハイスクールでのみ協働学習が行われたが、今年度は現地の先生方の協力のもと、ランギルル・ガールズスクールでも協働学習が行われた。

本校の生徒の選抜メンバーは、自身が探究している論題について、英語での発表を行った。英語で、英語を母国語とする高校生への発表は、生徒達にとってはハードルの高いものであったが、意欲的

に取り組んでいた。

協働学習では、「多文化共生」・「エネルギー」・「生物多様性」というテーマについて、英語で学び、現地の生徒と英語で協働した。生徒達も「協働学習が楽しかった」と感想を述べており、充実した学習を行うことができた。



高1

高校1年生は「Think Globally, Act Locally ～世界の問題を自分の事として考え、行動しよう～」をテーマに、「国際」「多文化共生」「環境」の3領域にわかれて探究活動を行った。

昨年度と同様に「グローバルリーダーとは」、「横浜市のエネルギー」、「国際協力の現場から」、「神奈川県にいるベトナム難民」というテーマで外部の専門家を学校に招待し、講演会を行った。また7月10日と11日の2日間でフィールドワークを実施しました。

「国際」分野の生徒は、JICA地球広場・東京ジャーミートルコ文化センターを、「多文化共生」分野の生徒は川崎コリアタウンを、「環境」分野の生徒はLise（川崎生命科学・環境研究センター）・ゾーラシア繁殖センターを訪問した。

今年度は訪問先として、東京ジャーミートルコ文化センターとゾーラシア繁殖センターが新たに加わった。ゾーラシア繁殖センターは日本国内外で絶滅の恐れのある野生希少動物の飼育、飼育下での繁殖を行っている施設である。生物多様性の重要性を知り、自分たちが現在どのようなことができるかを考える機会となった。

夏休みの情報集中授業では、ポスターセッションに有効なグラフの作成方法や表計算ソフトやパワー・ポイントを使った発表の方法を学んだ。

後期には、情報集中授業で作成したパワー・ポイントの内容を見直し、発表の原稿を作成し、発表会に臨んだ。



高校2年生は、今年度からESDのプログラムがスタートした。「To be a global leader ～持続可能な社会を創るために個人の課題を自主的に発見し、解決策を思案する～」をテーマに活動を取り組んだ。高校1年では「国際」「多文化共生」「環境」の3領域にわかれてグループ単位で探究活動を行ったが、今年度は個人で課題・問題を発見し、解決策を見出していくことを狙いに、「平和」「国際」「多文化」「環境」「生命」へと領域を広げた。

まず国連が示す「SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS」（SDGs）や文科省の科学技術・学術における分野別の研究開発、スーパーグローバルハイスクールの取り組みを参考に、自分の関心の持てる領域と課題・研究テーマを決めた。

その後、自分が決めた課題について探求マップを作り、「研究リサーチ図書」を選択し、先行研究から学んだ。ここまでの内容を、「問い」「研究動機」「基礎知識」「図書の内容」として整理し、なでしこ祭で中間発表を行った。

年が明けてからは、今まで探求してきた内容をもとに、自分の課題に対して「問題の背景」また「結論に至る根拠」を示して、自らの考え＝解決策を出した。図やグラフ・キーワードなどをまとめ、「ポスター」を作成し、各クラスでひとりずつ発表を行った。

このように、主体的に問題を発見し、調査し、その問題について解決策を提案することを通して、高校・大学を卒業し、グローバルな社会の中で活躍していける力を育てている。